



## 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東 福

上場会社名 グリーンランドリゾート株式会社  
 コード番号 9656 URL <http://www.greenland.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 江里口俊文  
 (氏名) 渡邊和雄  
 配当支払開始予定日

TEL 0968-66-2111  
 平成25年9月2日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	3,889	6.6	129	194.8	108	898.4	84	779.8
24年12月期第2四半期	3,647	6.2	43	—	10	—	9	—

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 112百万円 (1,395.9%) 24年12月期第2四半期 7百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	8.23	—
24年12月期第2四半期	0.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第2四半期	21,652	10,240	47.3	1,002.25
24年12月期	21,676	10,169	46.9	995.30

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 10,240百万円 24年12月期 10,169百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	2.00	—	4.00	6.00
25年12月期	—	4.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,850	2.8	350	29.7	295	43.6	200	57.2	19.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) グリーンランドサービス株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	10,346,683 株	24年12月期	10,346,683 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	129,149 株	24年12月期	129,149 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	10,217,534 株	24年12月期2Q	10,217,732 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書の四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、株価上昇による相場環境の回復もあり、消費意欲が刺激された面も見られました。特に九州の遊園地事業は、春休み及びゴールデンウィーク期間が天候に恵まれたこと、ならびに春に開催した各種イベントが活況に推移するとともに、前年夏に導入した大型遊具が人気を博し、利用者数、売上高を順調に伸ばすことができました。また、九州の遊園地事業においては園内清掃をはじめとする園内管理業務の外部委託を廃止する等、様々な経費節減にも取り組みました。

また、グループ企業再編の一環として、ホテル業に加えて遊園地内で飲食店舗を経営している有明リゾートシティ株式会社と生損保保険代理店業、商品販売業及び労働者派遣事業を行うグリーンランドサービス株式会社の連結子会社2社の合併を行い、保険代理店業の新たな顧客獲得、商品販売業における冠婚葬祭用品の売上拡大、さらには遊園地内の飲食店舗と物販店舗との総合的な管理体制の構築による収益向上を図りました。

なお、労働者派遣事業のうち主に遊園地事業及びゴルフ事業において当社へ出向派遣されていた社員は、当社への直接雇用に切り替えることで、個々の意識改革及びスキルアップを促し、顧客へのサービスの質の向上に繋がりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,889,712千円（前年同期比6.6%増）となり、営業利益は129,517千円（前年同期比194.8%増）、経常利益は108,854千円（前年同期比898.4%増）、四半期純利益は84,078千円（前年同期比779.8%増）となりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	3,889,712	3,647,859	241,853	6.6
営業利益	129,517	43,928	85,588	194.8
経常利益	108,854	10,903	97,951	898.4
四半期純利益	84,078	9,556	74,521	779.8

次に、報告セグメントごとの業績は次のとおりです。

#### ① 遊園地事業

今春、九州の『グリーンランド』におきましては、「仮面ライダーウィザード超魔法伝」と題し仮面ライダーウィザードをメインキャラクターに、期間前半の平成25年3月2日から4月19日の49日間は、平成仮面ライダーが出演する「平成ライダー戦記」を、後半の平成25年4月20日から5月31日にかけての42日間及び6月8日から6月30日までの土・日にかけての8日間は、昭和ライダーが出演する「昭和ライダー戦記」を、6月1日と2日はスーパー戦隊シリーズと共演したスペシャルショーを、ワイヤーアクションを駆使した当遊園地でしか見ることのできないスケールで開催いたしました。さらに、平成25年3月16日から5月6日にかけては、「初音ミクとあそぼうっ！inグリーンランド」と題し、10代20代の男女を中心に人気を集めている「初音ミク」を題材としたイベントを開催するとともに、園内のアトラクションにもラッピングを施し、メインの仮面ライダーショーとは異なる若者層の集客を図りました。その他にも、「スペシャルキッズデイズ」と題し、3月23日に「それいけ！アンパンマンショー」、3月24日に「ワンワンとあそぼうショー」を、5月3日から5月6日にはゴールデンウィーク特別イベントとして「ドキドキ！プリキュアショー」等を開催し、集客に努めました。また、園内清掃をはじめとする園内管理業務を外部委託から当社グループにおいて行うことにより、連携の強化及び精度の高い管理業務の体制を確立しました。その結果、好調なイベントによる集客に加え、天候にも恵まれ春休み及びゴールデンウィーク期間の集客が順調に推移し、利用者数は、前年同期比40,904人増加の433,752人となり、売上高は前年同期比259,035千円増収(+15.1%) 1,972,162千円となりました。

『北海道グリーンランドホワイトパーク（スキー場）』におきましては、記録的な豪雪があったものの、スキー利用者数及び売上高は昨年実績並みとなりました。また、『北海道グリーンランド遊園地』におきましては、「国立ポリショイサーカス」の開催や、人気キャラクターを起用した「4大ヒーロー&ヒロイン大集合」を開催し、集客に努めましたが、ゴールデンウィーク期間を通じた雨天及び低温による集客減の影響が大きく、5月後半から6月にかけては順調に推移したものの、ゴールデンウィーク期間の落ち込みをカバーすることができず、スキー場と合わせた利用者数は前年同期比7,165人減少の89,793人となり、売上高は前年同期比28,025千円減収（△10.6%）の236,302千円となりました。なお、いわみざわ公園管理につきましては、平成25年7月11・12日に岩見沢市で開催の「ばら制定都市会議（ばらサミット）」に向け、バラ園の整備・改善による魅力ある施設作りに取り組みました。

その他、『モビリティおおむた』におきましては、賃借している土地の賃貸人との合意解約により4月30日で営業終了したことに伴い、売上高は前年同期比7,630千円減収（△40.6%）の11,171千円となりました。

以上の結果、遊園地事業につきましては、利用者数は前年同期比33,739人増加の523,545人となり、売上高は前年同期比223,378千円増収（+11.2%）の2,219,636千円となり、営業利益は前年同期比91,110千円（+55.8%）増益の254,503千円となりました。

## ② ゴルフ事業

『グリーンランドリゾートゴルフコース』におきましては、多彩なイベントを開催するとともに、コース整備においてはホールの難易度アップに向けたティーインググラウンドの改修・増設を行いました。また、レストランにおけるテーブルクロスの変更による雰囲気改善やビールオートサーバーの設置、売店におけるくまモングッズの販売の開始等により満足度向上に努めました。更にフロント周りの壁紙の張り替え、指静脈認証式ロッカーの設置を行う等、設備の拡充を行いました。

『大牟田ゴルフ場』におきましては、オープンコンペ等のイベント開催による集客に努める一方、雑木伐採によるクラブハウス玄関前や駐車風景観の改善等の施設面の充実を図りました。また外部予約サイトの利用に加え、自社WEB会員への定期的な情報発信による来場者の獲得やキャディ教育にも力を入れ来場者の満足度の向上に努めました。

『広川ゴルフ場』におきましては、様々なイベントの実施に加え、レディースティーの設置、新規カートの導入、施設内の空調機の取替等により顧客満足度の向上に努めました。

しかしながら、周辺ゴルフ場との競争は一段と激しさを増し、ゴルフ事業につきましては、利用者数は前年同期比2,783人減少の67,120人、売上高は前年同期比27,231千円減収（△5.3%）の481,932千円となり、営業損失は前年同期比102千円損失増の8,522千円となりました。

## ③ ホテル事業

『ホテルブランカ』におきましては、卒業旅行新プラン等の販売に注力しました。また、レストランにおいては鍋バイキングや土日祝日限定のハーフバイキングを積極的に販売しました。さらに、中庭バーベキューにおいて、日本初となるカップを置くだけで底からビールがわき上がる「トルネードディスプレイ」の設置や新メニューとして骨付きスモークリブ・骨付きスモークターキーを目玉とし集客に努めました。以上の取り組みを行いましたが、宿泊、食堂部門ともに伸び悩み、売上高は減少いたしました。

『ホテルヴェルデ』におきましては、自社WEBサイト専用のネット予約システムを導入し、客室販売に取り組みました。施設面においては廊下クロスの張り替え及び外壁塗装を行い、明るくきれいな印象を与えることにより顧客満足度の向上に努めました。レストランにおいては、「小岱」で季節感を出したメニューづくりに努め、特に春の期間2カ月限定で販売した「春かご御膳」が好評を博しました。また、「トレヴィイ」においてもオーダーバイキングや、定番となったデザートバイキング、婚活パーティー等のイベントを実施し、集客に努めました。婚礼においては披露宴実績のあるお客様からの口コミによる情報拡散や、紹介制度のご案内等による新規顧客の獲得を図りました。一般宴会におきましては、春の歓送迎会をはじめ季節毎のプランの展開や、平子理沙トークショーを開催する等、集客に努めました。以上の取り組みの結果、宿泊及び料飲部門は増加したものの、婚礼や一般宴会が減少したため、昨年実績並みとなりました。

『ホテルサンプラザ』ならびに『北村温泉ホテル』におきましては、地域密着型の営業展開に加え、インターネット予約サイトの充実にも力を入れました。

『ホテルサンプラザ』におきましては、焼酎フェア、カニバイキング、ステーキ食べ放題、中華グルメディナー等のイベントを開催し、集客に努めてまいりました。また、婚礼におきましては、リニューアルした会場による新しいホテルウェディングのPRに取り組んでまいりました。

『北村温泉ホテル』におきましては、温泉会員の特典内容を拡充し、DM発送による宿泊者獲得及び居酒屋・レストランでの新メニュー追加、生ビール飲み放題イベントの開催により集客を図ってまいりました。

以上の結果、宿泊者数は『ホテルヴェルデ』の宿泊者数増加により前年同期比521人増加の43,794人となりましたが、売上高は客単価の減少等により前年同期比41,334千円減収（△4.5%）の882,045千円となり、営業損失は前年同期比35,610千円損失増の64,618千円となりました。

④ 不動産事業

不動産事業におきましては、土地賃貸料が前年同期期間と同水準で推移し、売上高は前年同期比171千円増収(+0.2%)の82,864千円となり、営業利益は前年同期比4,590千円(+8.7%)増益の57,549千円となりました。

⑤ 土木・建設資材事業

土木・建設資材事業におきましては、土木工事における受注額の増加により、売上高は前年同期比87,980千円増収(+75.0%)の205,233千円となり、営業利益は前年同期比28,707千円(+710.7%)増益の32,747千円となりました。

⑥ その他の事業

ギフト商品販売業におきましては、売上高が増加したものの、保険代理店業における売上高の減少により全体の売上高は前年同期比1,110千円減収(△5.8%)の17,999千円となり、営業利益は前年同期比4,028千円(△78.1%)減益の1,129千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、21,652,514千円(前連結会計年度末比24,239千円減少)となりました。

① 流動資産

流動資産は、620,928千円(前連結会計年度末比153,400千円減少)となりました。主な要因は、未収入金で61,602千円増加したものの、現金及び預金で101,250千円、受取手形及び売掛金で80,148千円減少したことによるものであります。

② 固定資産

固定資産は、21,031,585千円(前連結会計年度末比129,161千円増加)となりました。主な要因は有形固定資産の減価償却等で151,681千円減少したものの、土地の購入等で259,249千円増加したことによるものであります。

③ 流動負債

流動負債は、4,688,251千円(前連結会計年度末比135,044千円増加)となりました。主な要因は短期借入金で167,187千円増加したことによるものであります。

④ 固定負債

固定負債は、6,723,736千円(前連結会計年度末比230,744千円減少)となりました。主な要因は長期預り金で104,700千円、長期借入金で106,446千円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

純資産は、10,240,526千円(前連結会計年度末比71,460千円増加)となりました。主な要因は利益剰余金で43,366千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年7月23日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の経済情勢の変化や事業運営におけるさまざまな状況変化によって、予想の数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、連結子会社でありましたグリーンランドサービス(株)につきましては、連結子会社であります有明リゾートシティ(株)と平成25年4月1日に合併し、消滅会社となったため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	313,970	212,719
受取手形及び売掛金	259,000	178,852
商品及び製品	43,159	23,291
原材料及び貯蔵品	52,803	44,135
販売用不動産	7,130	7,130
繰延税金資産	18,923	18,266
その他	98,136	157,942
貸倒引当金	△18,795	△21,409
流動資産合計	774,329	620,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,626,155	4,512,067
機械装置及び運搬具（純額）	482,309	453,130
土地	14,782,352	15,041,602
その他（純額）	123,858	114,204
有形固定資産合計	20,014,676	20,121,004
無形固定資産		
その他	245,707	245,410
無形固定資産合計	245,707	245,410
投資その他の資産		
投資有価証券	199,079	229,375
繰延税金資産	325,195	305,136
その他	119,044	131,937
貸倒引当金	△1,279	△1,279
投資その他の資産合計	642,040	665,170
固定資産合計	20,902,424	21,031,585
資産合計	21,676,754	21,652,514

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	79,953	46,996
営業未払金	84,680	90,759
短期借入金	3,920,380	4,087,567
未払金	245,626	221,075
未払法人税等	85,697	93,197
その他	136,869	148,655
流動負債合計	4,553,206	4,688,251
固定負債		
長期借入金	3,209,674	3,103,228
長期預り金	3,536,111	3,431,411
退職給付引当金	13,768	9,056
役員退職慰労引当金	42,538	—
その他	152,388	180,039
固定負債合計	6,954,481	6,723,736
負債合計	11,507,687	11,411,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,274,342	1,317,708
自己株式	△42,247	△42,247
株主資本合計	10,180,030	10,223,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,964	17,129
その他の包括利益累計額合計	△10,964	17,129
純資産合計	10,169,066	10,240,526
負債純資産合計	21,676,754	21,652,514



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	3,647,859	3,889,712
売上原価	3,315,606	3,464,098
売上総利益	332,252	425,613
販売費及び一般管理費	288,324	296,096
営業利益	43,928	129,517
営業外収益		
受取利息	109	55
受取配当金	2,414	3,165
受取賃貸料	2,648	2,828
受取保険金	3,401	12,470
助成金収入	4,402	1,865
雑収入	4,222	1,717
営業外収益合計	17,197	22,102
営業外費用		
支払利息	48,658	41,864
雑損失	1,564	899
営業外費用合計	50,222	42,764
経常利益	10,903	108,854
特別利益		
固定資産売却益	2,158	9,073
受取保険金	37,824	58,980
収用補償金	3,882	—
その他	—	8,243
特別利益合計	43,865	76,297
特別損失		
固定資産除売却損	844	1,011
災害による損失	13,511	9,555
廃棄費用	—	5,559
特別損失合計	14,356	16,126
税金等調整前四半期純利益	40,412	169,025
法人税、住民税及び事業税	31,744	79,633
法人税等調整額	△888	5,314
法人税等合計	30,856	84,947
少数株主損益調整前四半期純利益	9,556	84,078
四半期純利益	9,556	84,078

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,556	84,078
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,057	28,094
その他の包括利益合計	△2,057	28,094
四半期包括利益	7,498	112,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,498	112,172
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	40,412	169,025
減価償却費	218,859	207,964
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△42,538
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△15,721	△4,711
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,028	2,614
受取利息及び受取配当金	△2,523	△3,220
支払利息	48,658	41,864
受取保険金	△37,824	△71,451
固定資産除売却損益 (△は益)	△1,314	△8,062
売上債権の増減額 (△は増加)	108,064	72,571
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,446	28,535
仕入債務の増減額 (△は減少)	△35,240	△26,877
未払金の増減額 (△は減少)	△11,655	△349
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,236	18,336
その他	22,807	4,162
小計	317,868	387,863
利息及び配当金の受取額	2,523	3,220
利息の支払額	△47,902	△41,576
保険金の受取額	31,998	12,770
法人税等の支払額	△17,443	△72,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,045	289,886
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,800	△3,000
定期預金の払戻による収入	4,800	—
有価証券の売却による収入	999	—
有形固定資産の取得による支出	△156,558	△325,687
有形固定資産の売却による収入	2,228	10,380
無形固定資産の取得による支出	—	△897
投資有価証券の売却による収入	—	13,200
その他	1,769	1,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,561	△304,373
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	88,000	184,150
長期借入れによる収入	550,000	670,000
長期借入金の返済による支出	△690,397	△793,409
長期預り金の受入による収入	5,400	—
長期預り金の返還による支出	△91,100	△104,700
リース債務の返済による支出	△2,452	△4,873
自己株式の取得による支出	△20	—
配当金の支払額	△40,594	△40,931
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181,165	△89,764
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△43,681	△104,250
現金及び現金同等物の期首残高	284,987	310,870
現金及び現金同等物の四半期末残高	241,305	206,619

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	1,996,257	509,164	923,380	82,693	117,253	19,109	3,647,859	-	3,647,859
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,858	10,503	35,759	9,414	5,153	42,648	105,338	△105,338	-
計	1,998,116	519,667	959,140	92,107	122,407	61,758	3,753,197	△105,338	3,647,859
セグメント利益又は損失 (△)	163,392	△8,419	△29,007	52,959	4,039	5,158	188,122	△144,194	43,928

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△140,179千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	2,219,636	481,932	882,045	82,864	205,233	17,999	3,889,712	-	3,889,712
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,929	5,568	37,431	8,730	11,742	18,594	83,997	△83,997	-
計	2,221,566	487,501	919,477	91,594	216,976	36,593	3,973,710	△83,997	3,889,712
セグメント利益又は損失 (△)	254,503	△8,522	△64,618	57,549	32,747	1,129	272,789	△143,272	129,517

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△140,444千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。